

## 年間第 27 主日の説教

金 大烈 神父 2010 年 10 月 3 日 (日)

《本質を見る目が許されるなら・・・》

主の平和！

皆様、右手を左胸の上に置いてみて下さい。何か感じられますか？・・・感じられるまで静かに手を置いてみて下さい。打っていますか？ 打っていない方は？ 打っていますよね。

今、心臓が打っているかどうか確かめたんですが、打っていなかったら天国か地獄か煉獄にいることになりますから・・・(笑い)。医学が発達すると今までわからなかったいろんなことが明らかになることが結構あります。地球の一回りは何キロくらいあると思いますか？ 小学校のとき習わなかったんですか？ そうです。40,000km くらいになります。それでは私たちの身体の中のすべての血管を繋ぐと、その長さはどのくらいだと思いますか？ 地球を 2 回り半くらいの長さ、120,000km くらいだそうです。子供は 96,000km、大人は 110,000km くらいだと言われています。想像して見て下さい。心臓から出て大動脈を通過して動脈、毛細血管を通り、静脈から大静脈を通過して心臓に戻る。血が一回りする時間は平均 46 秒くらい。血の流れる速度は時速 210km、心臓の重さは 300g 位だそうです。

1 日 47.5 リットルの血を 1,000 回流します。人間の寿命を 70 才としたら、70 年間に何回打つと思いますか？ 26 億回です。今皆様は静かに座っていますが、その身体の中では 200km 以上のスピードを出しながら血が流れているわけです。身体的神秘に限らず、いろんなことが不思議じゃあないですか？

それでは信仰って何でしょうか？ 信は信じる、仰はあおぎみること、信仰心は信じて仰ぎ見る心を意味します。「桑の木に動いて海に根を下ろせといえ、桑の木は動いて海に根をおろす。」昔からことわざで桑畑が海になったら困るといいますが、このようにとんでもないことがおこるとイエス様はおっしゃいました。イエス様がおっしゃったことを実際には信じられないのが私たちの常識ですよ。今医学で人間の身体の血管は 96,000km から 120,000km の長さがあるといわれていますが、それを証明して下さいといわれたらどうでしょうか。ある人の身体を解剖して血管を動脈から静脈、毛細血管まで繋ぎ合わせて、「はい、地球 2 周り半の長さです。」ということが出来ますか？ できないでしょう。それに、私たちはたいてい自分の父母を完全に信じています。これは私の父親だ、母親だと信じていますよね。自分の親を疑っている人いますか？ 思春期のときに子供は疑うことがあるみたいですが。普通は疑わないでしょう。なぜこんなひどい親のもとで生まれたのかと考えるかもしれませんが、「この母が私を本当に産んだのか？」とは疑わないでしょう。

私たちの信仰はどうでしょう。今日の福音を通して申し上げたいことは、この小さい身体、そして何も蒔かなかったのに季節ごとに芽生える植物、いろんな生命体、生き物、その中を感覚のある目で見ようとする心が許されるなら、私たちは神様を信じるしかなくなります。よく考えて下さい。隣の

人を見て下さい。顔の大きさは手のひらで覆ってしまえるほどしかないのに一人一人全部違う。同じ母親から生まれた子供でも顔がみな違う。不思議ではないですか？

イエス様の言葉を聞いて、人々がそんなことがありえるのか、信じられないと言われるんですけどね。私たちはありえることで生きているではありません。ありえないことで生きている。すべてがある意味、ありえない不思議なことばかりです。

夫婦の縁ってそれも不思議ではありませんか？

自分から始めて回りを見ると信仰とはどういうものかがわかります。私たちはどこから来てどこまで行かなければならないか、自然に悟られると思います。

皆様、子供のような心を持たなければ天国には入れないとおっしゃったイエス様のみ言葉は、純粋な心、花に目を留める心、風の流れにアンテナを立たせる心のことではないでしょうか。そういう心によって私たちはイエス様のみ言葉を聞き取ること、み言葉を体験することができるのではないかと思います。いろんなかかわりがあって、すべてのものに心を許して下さい。そこには必ずイエス様がおられます。

ありがとうございました。